

# 災害への備えは大丈夫ですか？ 東日本大災害を教訓に

お話の前に、南  
国市防災行政無線  
の説明をいただき、

## 公民館講座

八月二十二日に「岩  
村公民館講座」が開催  
され、東日本大震災か  
ら得た貴重なお話を聞  
かせていただきました。

当日は、南国市危機管  
理課の西原課長を講師  
に招き、自ら震災後の復興支援  
に出向いた体験と、その惨状を  
目の当たりにし近い将来起こる  
とされている「南海大地震」へ  
の取り組みの重要性をお話し  
いただきました。



現状では「消防団緊急伝達シス  
テム」(サイレン吹鳴)での伝  
達しか手立てはないことから、  
今後は親局を南国市役所に置き、  
子局を各地域の避難場所等に設  
置し、狭い範囲で情報が伝達で  
きるシステムを整備中であるこ  
とを教えていただきました。

皆さんも、東日本大震災の惨  
状は報道等でご承知のとおりだ  
とは思いますが、実は報道され  
なかった現実を西原課長から知  
らされ、私自身ショックを受け  
ました。

「天災は忘れた頃にやってく  
る」という言葉どおり、「この  
くらいの揺れでは大丈夫」とか、  
「津波は二〜三メートル位だろ  
う」との安易な判断から、今回  
のような大きな災害が生まれた  
とも言われています。

情報は行政や専門家から与え  
られるものでなく、自分自身が  
過大評価して行動することが大  
切、災害が起こればまずは逃げ  
る！。これが基本であることを

知らされました。  
いつ起こってもおかしくない  
「南海大地震」の備えは十分で  
すか？  
東日本大震災は人ごとではな

い。明日は我が身の気持ちで本  
気になって備える必要があると、  
今回のお話で痛感しました。  
(寄稿者・福船 田所秀二)

## 星に願いを 七夕まつり

七月一日(土)、岩村公民館主  
催で「岩村七夕まつり」が開催  
されました。初めての試みでし  
たが、当日は子ども会をはじめ  
百人以上の多くの人たちにお集  
まりいただき、短冊を竹に飾っ  
ていただきました。

七夕まつりは豊年・豊作を願  
うと同時に縁結びも祈願する、  
おめでたいお祭りです。

願いを書いた七夕は、ふれあ  
いセンター駐車場に一週間飾り  
ました。

七夕まつりに参加した団体

包末子ども会

金地子ども会

堀ノ内子ども会

福船・蔵福寺島子ども会

いきいき体操

岩村消防団

健康づくり

3B体操

愛球会

パソコンクラブ

公民館運営審議会

(投稿者・福船 和田真二)

とても暑い日でしたが、  
大人も子どもも一生懸命、  
飾りつけをしました。

